

バンコク・ドゥシット・メディカル・サービスズ(BDMSn) 「バンコク・インターナショナル病院」や日本人医療センターの開業など、タイの医療ツーリズム拡大に貢献 タイ | ヘルスケア施設 | 業績フォロー

BLOOMBERG BDMS:TB | REUTERS BDMS.BK

- 2019/12期3Q(1-9月)は営業収益が前年同期比6.3%増、EBITDAが同2.1%減、純利益が同68.5%増。ただし、調整後EBITDAは同3.2%増、調整後コア純利益は同2.1%減だった。
- 保険適用患者ベース拡大、および「バンコク緊急サービス」が増収に寄与した。外国人患者の構成比は同1%ポイント増の31%だった。
- 財務改善が進展。また、「バンコク・インターナショナル病院」や日本人医療センターの開業などタイの医療ツーリズム拡大に貢献。

What is the news ?

11/12発表の2019/12期3Q(1-9月)は、営業収益が前年同期比6.3%増の622.93億THB。保険適用患者ベースの堅調な拡大に伴う診療件数増および報酬価格の高止まりが成長に寄与したことに加え、事故または緊急状態にある患者に対して24時間体制でタイムリーに治療を委託する「バンコク緊急サービス」が貢献した。EBITDAが同2.1%減の133.24億THB、純利益が68.5%増の131.95億THB。ただし、労働法に基づく勤続20年以上社員への特別給与引当金の計上、およびバンコク国際病院の電気使用に係る変電所設置のための首都圏電力公社への一括支払費用などの一時的項目を除いた調整後EBITDAは、同3.2%増の140.51億THBだった。その一方、ラムカムヘーンパブリック病院の出資分を2019/1に全部売却した利益を除く調整後コア純利益は同2.1%減の76.80億THB。バムルンラード病院への出資などに係る持ち分法投資利益が同32%減となったことが響いた。

事業別の概況は以下の通り。病院事業の営業収益は同6.5%増の593.23億THB。営業収益では、タイ人患者が同6%増に対し外国人患者が同7%増。外国人の構成比は同1%ポイント上昇の31%を占めた。特に、アラブ首長国連邦が同78%増、オマーンが同67%増、カンボジアが同17%増と伸びた。商品販売事業の営業収益は、セーブドラッグセンターの売上減およびANBラボラトリーズの輸出売上減が響き、同0.9%減の22.61億THB。その他の営業収益は同15.8%増の7.10億THBだった。

How do we view this ?

ゼロクーポン転換社債の転換可能最終日までに全額が株式に転換されて負債が減少し、2019/10に格付け機関のTRISが同社の格付けを引上げて優先無担保社債をAAマイナスからAAとするなど財務面が強化された。また、2019/11にバンコク病院の隣接地に神経学・整形外科・背骨ケアに係る次世代体験と満足を目指す「バンコク・インターナショナル病院」を開業するなどタイの医療ツーリズムの魅力を増し、外国人富裕層にアピールすることに貢献している。傘下のサミティベート病院では2019/6に日本人医療センターを開業し、日本の病院との提携により日本人の利用増に対して成果を上げている。2019/12通期の市場予想は、営業収益が前期比6.5%増の836.53億THB、当期利益が同56.5%増の143.84億THB。

業績推移

※参考レート 1THB=3.57円

事業年度	2016/12	2017/12	2018/12	2019/12F	2020/12F
営業収益(百万THB)	67,903	71,932	78,417	83,653	89,504
当期利益(百万THB)	8,386	10,215	9,191	14,384	10,931
EPS(THB)	0.54	0.66	0.59	0.93	0.70
PER(倍)	118.52	96.97	108.47	68.82	91.43
BPS(THB)	3.60	4.07	4.49	5.14	5.41
PBR(倍)	17.78	15.72	14.25	12.45	11.83
配当(THB)	0.29	0.36	0.45	0.42	0.40
配当利回り(%)	0.45	0.56	0.70	0.66	0.63

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(THB)	0.42	(予想はBloomberg)
終値(THB)	64.00	2020/1/7

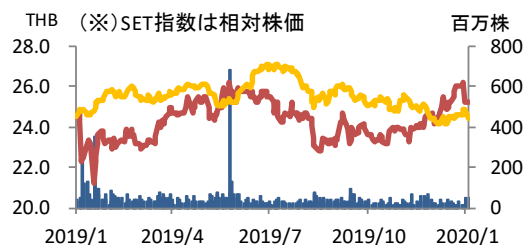
会社概要

1969年に診療所として設立。売上高、時価総額でタイ最大の民間病院運営会社。私立病院では売上高で世界トップ5に入る。タイ国内で46院、カンボジアに2院の病院を運営する。タイ国内初の民間心臓病院(バンコク心臓病院)や民間がん病院(ワタノス病院)、小児病院(サミティベート小児病院)を開設するなど、タイ医療のパイオニアである。病院ネットワークはバンコク病院、サミティベート病院、ロイヤルバンコク病院、BNH病院、パヤータイ病院、パオロ病院の6つの主要な病院グループから構成されている。

医療サービスの質に定評があり、全48病院のうち26の病院および臨床プログラムが、ジョイント・コミッション・インターナショナル(JCI)の認定を受けている。様々な分野で留学経験のある質の高い医師や看護師を揃え、国内外の患者に最新の医療技術に裏付けられた治療を提供している。医療水準やサービスの質を維持するために、新たにネットワークに加わる病院は設備や人材、サポートシステムなどで基準を満たす必要がある。

企業データ(2020/1/8)

ベータ値	0.51
時価総額(百万THB)	405,246
企業価値=EV(百万THB)	429,064
3ヵ月平均売買代金(百万THB)	659.1



(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

主要株主(2020/1)

株主	(%)
1.Prasarttong-Osoth Prasert	17.61
2.STOCK EXCHANGE OF THAILAND	8.37
3.VIRIYAH INSURANCE CO LTD	5.97

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

笹木 和弘
kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980

2020年1月8日

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>